

# 城崎小学校の現状と課題



# 1 学校概要①

- 平成6年建築、築26年
- 普通教室8、特別教室8、ランチルーム



# 1 学校概要② 児童数の推移

年	できごと	学級数	児童数
平成 6 年	城崎小学校創立	7	2 1 2
平成 1 5 年	創立 1 0 周年記念事業	7 (特 1)	1 4 9
平成 1 7 年	越前町立城崎小学校となる	7 (特 1)	1 4 0
平成 2 7 年	5 年前	6	8 7
令和 2 年	現在	7 (特 1)	7 6
令和 7 年	5 年後	6	5 5

# 1 学校概要② 令和2年度児童・教職員数

## 児童数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
男子	5	3	14	7	8	5		42
女子	4	5	2	3	9	10	1	34
合計	9	8	16	10	17	15	1	76

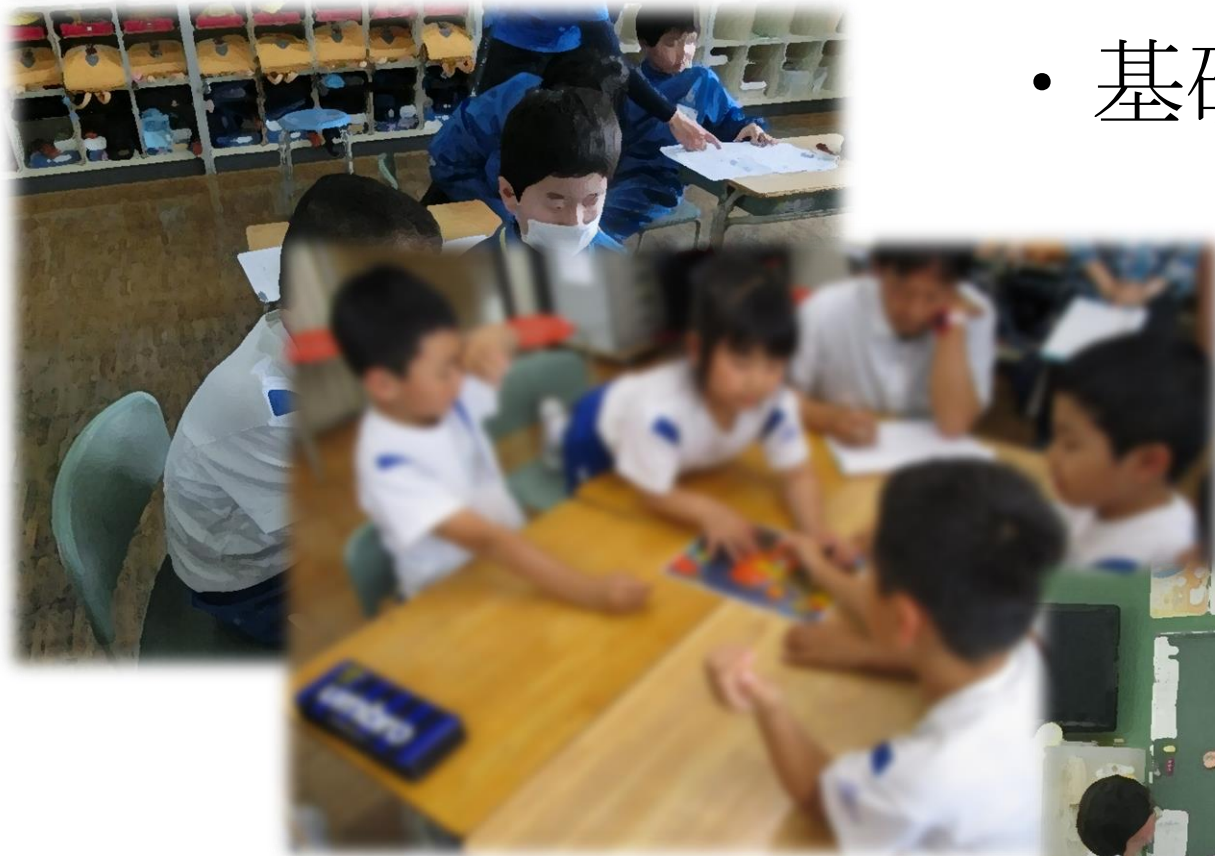
## 教職員数

教員	11
事務職員	1
用務員	1
生活支援員	1

## 2 学習指導

～主体的に学び、  
表現する子の育成～

- ・ 基礎学力(読む・書く)の定着
- ・ 自分の考え(表現力)
- ・ 学び合い



### 3 生徒指導

～自分・仲間・ふるさとを大切に  
する子の育成～

- ・ 道徳教育の充実

- ・ 縦割り班活動

- ・ 地域の宝を  
生かした学習



# 3

## 生徒指導

～心身共に  
たくましい子の育成～



・ 時と場に応じた言動

・ ルールを守る

・ ねばりづよさ



# 4 教員の指導力向上 校内

- 若手教員の指導、育成 ... OJT、指導・助言者の姿勢  
平成29年度～令和2年度 初任者3名  
学級担任 授業 生徒指導 保護者対応  
初任者指導教員、全職員

- 道徳の授業  
全ての担任が授業公開  
事前検討会、模擬授業





## 4 教員の指導力向上

他校、他地域との連携

- 小中連携越前部会  
指導主事訪問日の相互訪問
- 遠隔システムの活用  
授業参観  
研修講座視聴



# 5 学校運営

## ○スクールプラン

## ○組織的な取り組み

- ・学習指導部会
- ・生徒指導部会

## ○中間、年度末に評価

令和2年度 城崎小学校スクールプラン

めざす児童像 ① 自然を大切に ② ロマン(夢・希望)をもつ子 ③ サービス(奉仕)をする子 ④ 郷土を愛する子	児童の実態 ○元気で人なつこい。 ○楽直。 ▽あいさつに個人差がある。 ▽思いやりに欠ける言動が見られる。	保護者・教師の願い ・言葉遣いの優しい子 ・あいさつのできる子 ・自分の意見を言える子 ・最後まで努力する子 ・ふるさとに誇りをもつ子
--	---	--

学校教育目標 豊かな心をもち 学び合い ねばりづよく取り組む児童の育成

研究テーマ 自ら考え、ともに学び合う子の育成

中期重点目標	本年度目標	具体的方策
<p>(学び合う子)</p> <p>主体的に学び、表現する児童の育成</p>	<p>国語・算数の単元テストで、平均80点以上の児童を80%以上とする。</p> <p>学習課題に対して自分の考えをもち、表現することができる児童を80%以上とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習スタンダードを定着させ、学習に臨む姿勢を確立させる。</li> <li>・学習の見通しをもたせたり、課題を工夫したりして、意欲的に取り組ませるようにする。</li> <li>・自分の考えをもち、表現することができるように学習の場を工夫する。</li> <li>・一人が、年1回授業を公開し、授業研究を行う。</li> <li>・城小タイム等を利用して、読書やNIE、学習の基礎・基本や活用力育成の問題に取り組ませる。</li> </ul>
<p>(心の豊かな子)</p> <p>自他を大切にし、ふるさとに愛着を持つ児童の育成</p>	<p>「学校や学校が楽しい」と答える児童を90%以上とする。</p> <p>学校や地域の良さを答えられる児童を100%とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り班や係の活動をする中で、連帯感、所属感を高める。</li> <li>・道徳教育を充実し、互いに認め合う心を育む活動を通して自己肯定感を高める。</li> <li>・「心の天気雨→週間」を実施して児童の実態を把握し、困っていることを解決したり、いじめの未然防止、早期発見に努めたりする。</li> <li>・総合的な学習や各教科を通して、地域人材や素材を活用したり、体験活動をしたりする。</li> </ul>
<p>(ねばりづよい子)</p> <p>心身共に健康で、最後までやりとげる力の育成</p>	<p>時と場に応じた言動がとれる児童を90%以上とする。</p> <p>「きまりを守って生活できた」と答える児童を90%以上とする。</p> <p>「目標に向かって最後まで粘り強く取り組めた」と答える児童を90%以上とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師自身が正しい言動を意識する。</li> <li>・年間を通じた生活目標「トラブルA(安全第1・あいさつ・あたたかい心)」について、全校や学級で定期的に指導し、意識づける。毎月の月目標を決め、徹底させる。</li> <li>・学期に一度、生活チェック週間を実施し、自身の生活を振り返る場を設ける。</li> <li>・児童館を含めた地域や家庭での過ごし方・遊び方・「城スマア」の指導について、家庭と連携しながら進める。</li> <li>・業間運動等に意欲的に取り組めるよう、工夫した個人カードを用いたり、記録や順位、態度などで互いに賞賛し合う場を設けたりする。</li> </ul>
<p>(学校業務改善)</p> <p>働き方改革を意識して勤務する教職員集団づくり</p>	<p>教職員の一泊あたりの在校時間が10時間未満となる割合を50%以上とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に一度、早期退勤日を自己設定する。</li> <li>・校務支援システムを活用し、教職員の勤務傾向を「見える化」する。</li> </ul>

## 6 保護者および地域との連携

さつまいもの苗植え

さつまいも掘り



園児・祖父母を招いて秋祭り

# 6 保護者および地域との連携



海楽園訪問



漁協見学



県道改修  
工事見学



郷土料理体験

# 6 保護者および地域との連携

## ハッピーブックの日



読み聞かせ

図書館での支援



## 7 少人数のメリット ①児童にとって

1. 児童どうしが全員を知っている。
2. 全員に活躍の場がある。
3. 保護者どうしのつながりが深い。

## 7 少人数のメリット ②教職員にとって

1. 全体・全員を把握しやすい。
2. 全教職員で一人ひとりの指導・支援にあたることができる。
3. 急な変更に対応できる。

## 8 少人数の課題 ①児童にとって

1. 交友関係が限られ、一度形成された人間関係が固定化する。
2. 多様な考え方に触れることができない。
3. 集団での学習活動に必要な人数を満たせないことがある。



## 8 少人数の課題 ②教職員にとって

1. 一人が担う校務分掌の種類が多い。
2. 同学年担当教員との相談ができない。